

千葉商科大学国府台学会会則（抜粋）

第 2 条 本会は、会員の研究助成とその発表普及を目的とする。

第 3 条 本会は、千葉商科大学の専任教員をもって組織する。

第 4 条 本会は、次の事業を行なう。

1. 機関誌『千葉商大論叢』『千葉商大紀要』の発行。
2. 各種研究会・講演会の開催。
3. その他本会の目的を達成するために適当と認められる事業。

第 5 条 本会に次の役員をおく。

1. 会長 学長がこれにあたる。
2. 運営委員長 運営委員の互選による。
3. 運営委員若干名 会員総会で選出され任期は 1 年とし本会の事務を分担する。

前 号 目 次

巻頭の辞	島 田 晴 雄
久保田茂隆先生と情報教育	上 山 俊 幸
久保田茂隆先生の略歴および業績	

論 説

孫文の理想と東アジア共同体構築への示唆	趙 軍 (1)
本学の学生の社会人力を高めることについての研究 —SPI2解答能力の向上を考えながら—	相 良 陽一郎 (13) 中 村 晃 酒 井 志 延
マックス・ヴェーバーにおける理解社会学と神義論問題 —先行研究とその批判—	荒 川 敏 彦 (39)
日本における高エネルギー天体物理学の系譜(I)	横 尾 廣 光 (55) 内 田 俊 郎
日本における社外取締役の現状と課題 —その独立性と機能の確保を中心に—	樋 口 晴 彦 (63)
教育実習に関する効果的な事前・事後教育の検討 —実習中に求められるコミュニケーション能力について—	相 良 麻 里 (83) 相 良 陽一郎

そ の 他

平成24年外研究活動報告	(103)
--------------------	---------